

第 1 1 次大津市交通安全計画の 状況報告

令和 8 年度
大津市交通安全対策会議委員会

- 1 第1次大津市交通安全計画の概要
- 2 目標の達成状況
- 3 交通事故の発生状況
- 4 重点的に対応すべき事項の振り返り
- 5 第1次大津市交通安全計画期間データ分析
 - ①高齢者及び子どもの安全確保
 - ②歩行者及び自転車の安全確保
 - ③生活に密着した身近な道路及び交差点における安全確保

1 第1次大津市交通安全計画の概要

1 基本理念

「交通事故のない大津を目指して」とし、悲惨な死亡事故をなくするため、年間死者数については指標とせず**常にゼロを目指す。**

2 計画の指標

死者数ゼロの達成にもつなげる重傷者数とし、**年間「60人以下」**を目標とする。

3 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

2 目標の達成状況

※出典：交通事故発生状況（滋賀県警察本部
交通部交通企画課）及び
令和7年中の交通事故の発生状況
（警察庁交通局）を基に作成

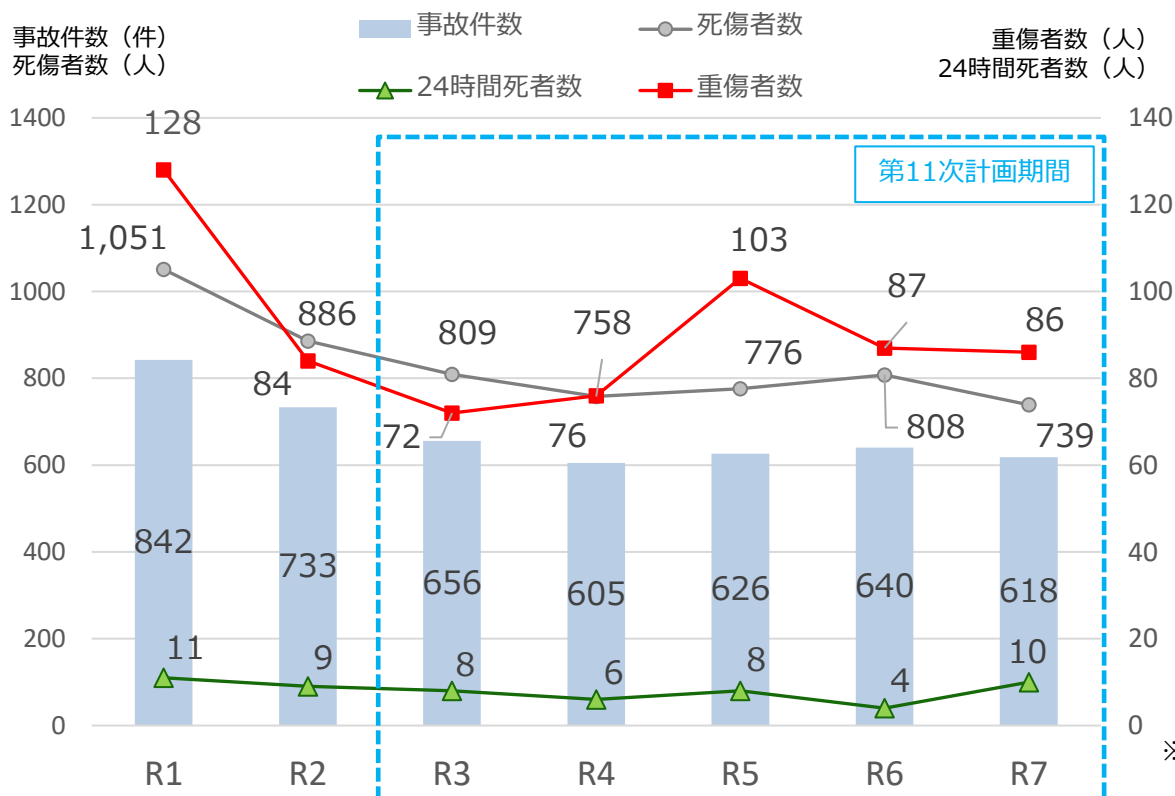
大津市	第11次 市計画目標	R3	R4	R5	R6	R7
重傷者数※(人)	60	71	77	103	87	86
(参考) 事故件数 (件)	—	656	605	626	640	618
(参考) 滋賀県	第11次 県計画目標	R3	R4	R5	R6	R7
重傷者数 (人)	290	325	322	404	368	327
24時間死者数※(人)	35	37	38	43	28	54
(参考) 事故件数 (件)	—	2,850	2,862	2,767	2,803	2,782
(参考) 全国	第11次 基本計画目標	R3	R4	R5	R6	R7
重傷者数 (人)	22,000	27,204	26,027	27,636	27,285	27,563
24時間死者数 (人)	2,000	2,636	2,610	2,678	2,663	2,547
(参考) 事故件数 (件)	—	305,196	300,839	307,930	290,895	287,023

※「重傷者」とは、交通事故によって負傷し、1か月（30日）以上の治療を要する者をいう。

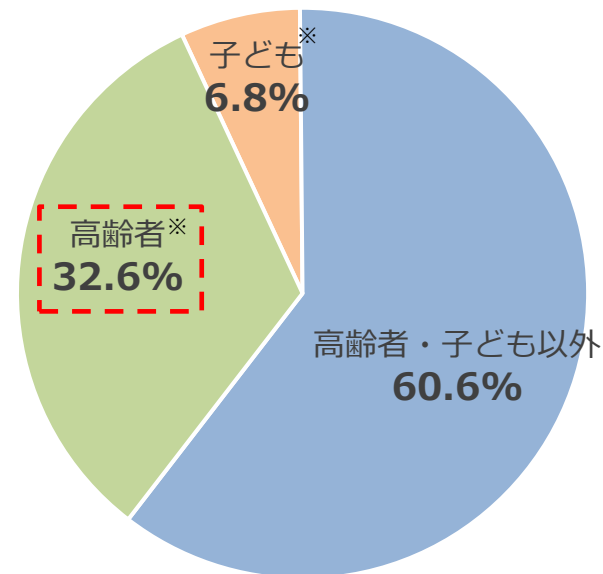
※「24時間死者」とは、交通事故によって、発生から24時間以内に死亡した者をいう。

3 交通事故の発生状況（第11次計画期間）

年間の事故件数は横ばい、重傷者数及び24時間死者数については、年によって増減している。重傷者の内訳については、高齢者が1/3の割合を占める。



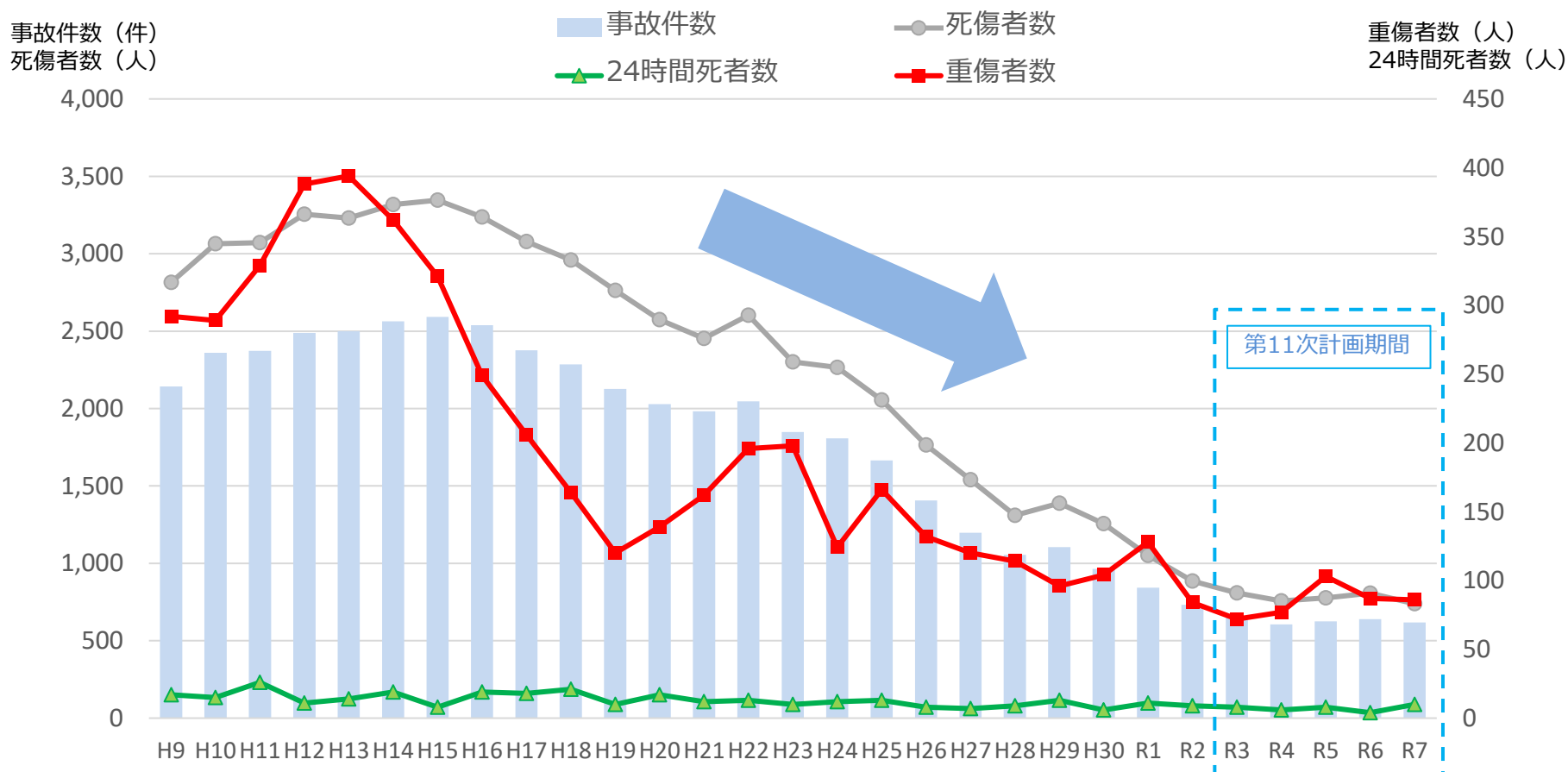
【重傷者の内訳（R4～R7）】



※「子ども」は中学生以下、「高齢者」は65歳以上をいう。
年代別の重傷者数は令和4年以降のデータとなる。

3 交通事故の発生状況（長期的な傾向）

長期的な事故の発生状況については、各数値共に減少傾向にある。



4 重点的に対応すべき事項の振り返り

交通事故による被害を減らすために設定した重点的に
対応すべき事項

- ① 高齢者及び子どもの安全確保
- ② 歩行者及び自転車の安全確保
- ③ 生活に密着した身近な道路及び交差点における
安全確保

5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

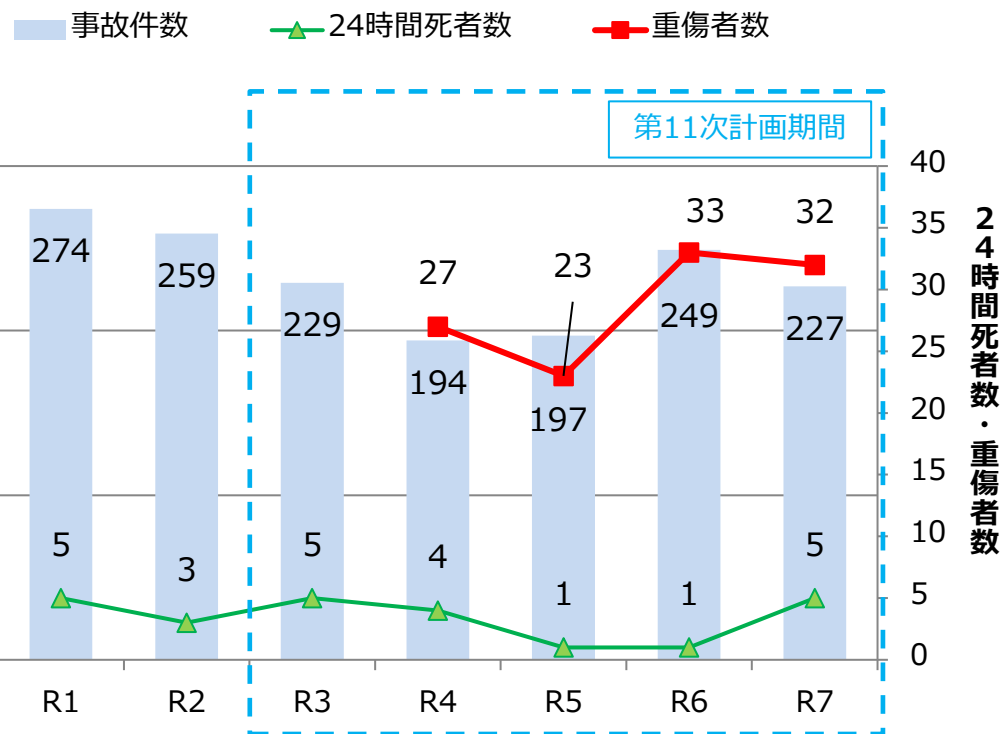
① 高齢者及び子どもの安全確保

(1) 高齢者の事故の推移と重傷者の事故状況

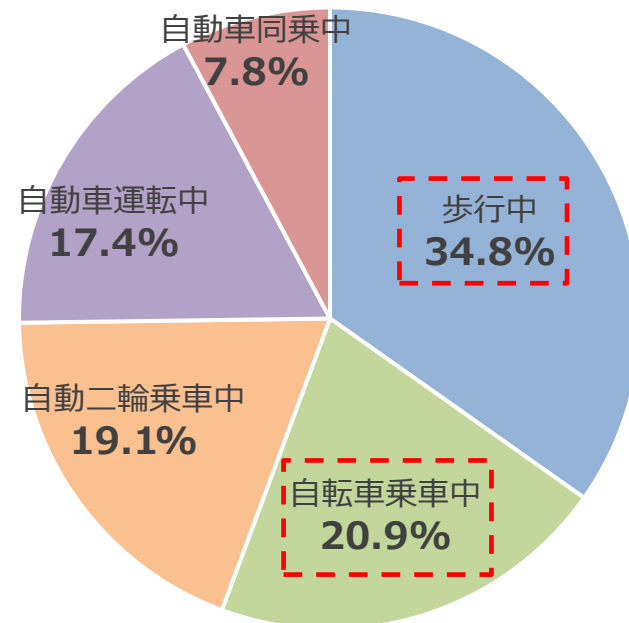
事故件数は、令和4年を底に、令和5年から増加に転じている。

24時間死者数は、令和5～6年は減少していたものの、令和7年は増加している。

重傷者数は、令和6年から増加しており、**歩行中、自転車乗車中**の割合が多い。



【高齢者の重傷者の事故状況（R4～R7）】



5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

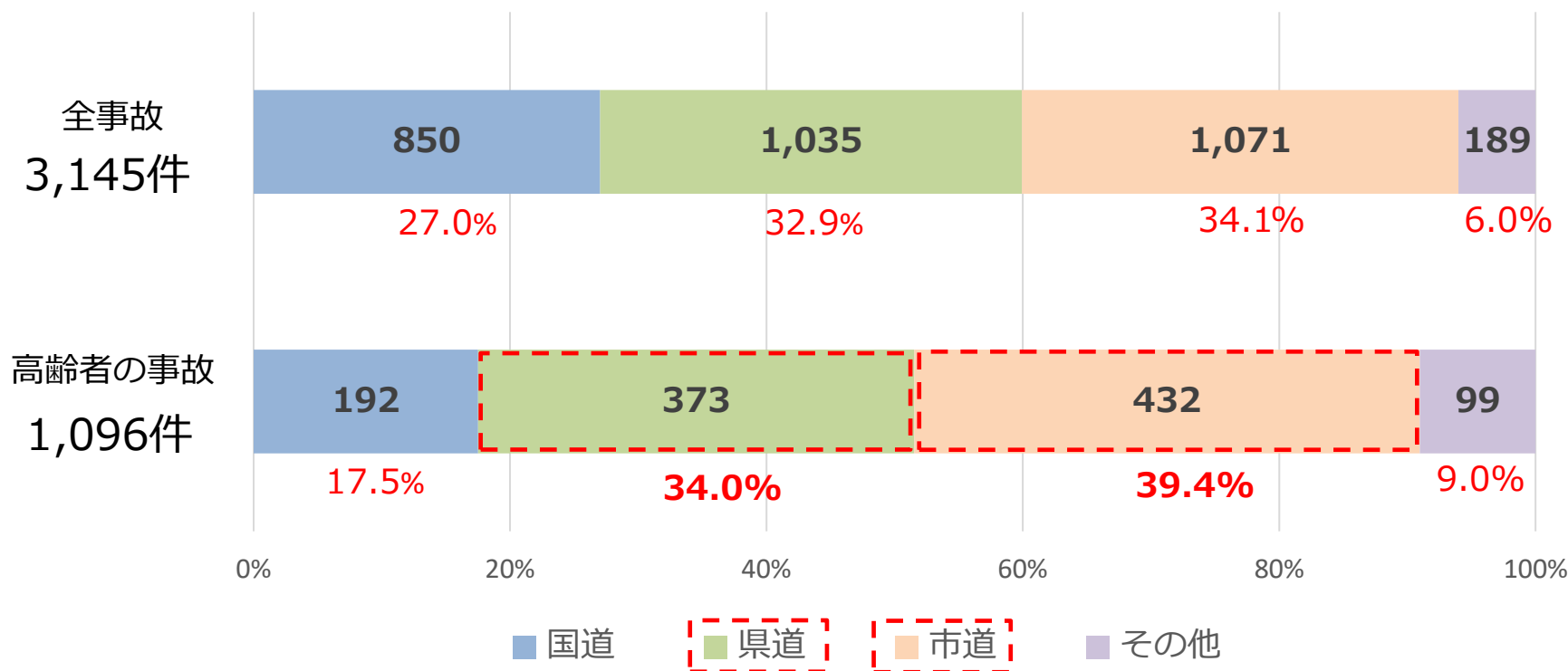
① 高齢者及び子どもの安全確保

(2) 高齢者の路線別交通事故件数

高齢者の事故は、全体の1/3を占めている。

7割が市道、県道において発生しており、全事故の割合に比べるとやや高い。

(グラフ内の数値は件数)



※ 令和3年から令和7年までの件数

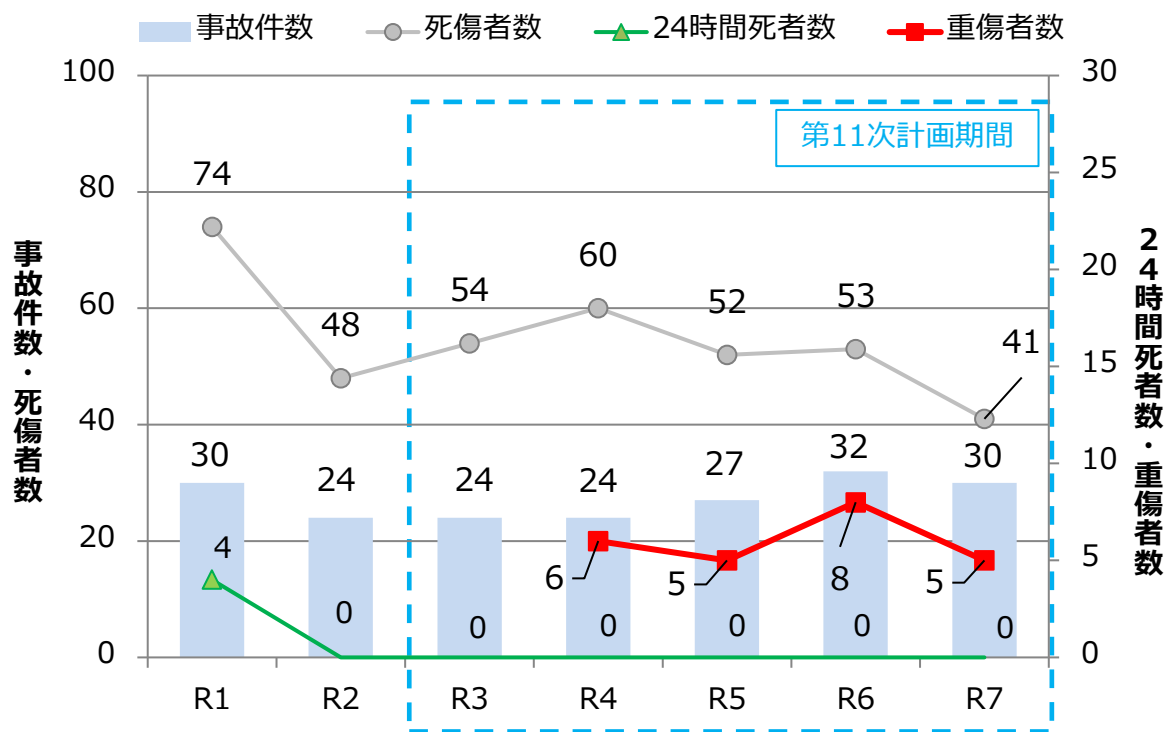
5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

① 高齢者及び子どもの安全確保

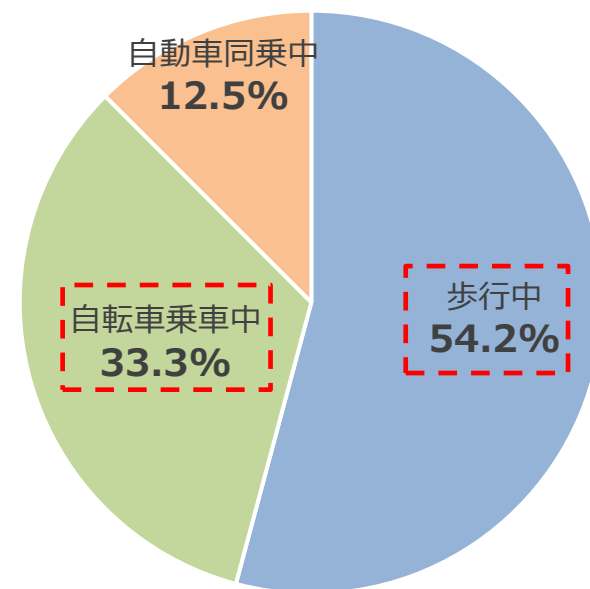
(3) 子どもの事故の推移と重傷者数の事故状況

24時間死者数は、ゼロで推移しているが、**事故件数**は、令和5年以降増加傾向にある。

重傷者数は、令和6年が多かったものの他の年は横ばいである。歩行中の割合が一番多く、次に自転車乗車中の割合が多い。



【子どもの重傷者の事故状況 (R4~R7)】

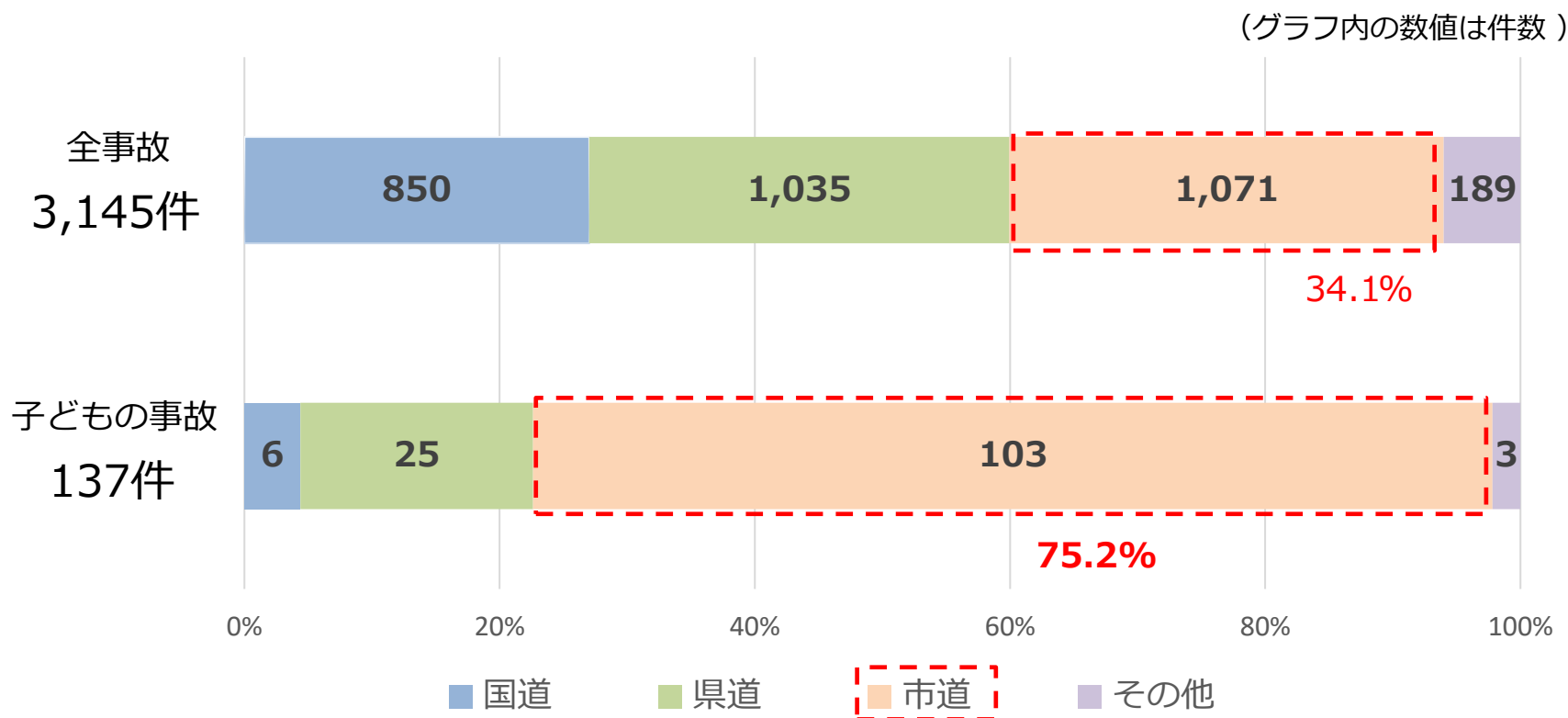


5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

① 高齢者及び子どもの安全確保

(4) **子ども**の路線別交通事故件数

市道（生活道路が中心）において発生した事故の割合は、全事故の34.1%に対して
子どもの事故は約75.2%と非常に割合が高い。



※ 令和3年から令和7年までの件数

5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

① 高齢者及び子どもの安全確保

【高齢者の安全確保】

- ・ 事故件数は、令和4年を底に、令和5年から増加傾向である。
- ・ 24時間死者数は令和5年、令和6年は減少していたものの、令和7年は増加している。
- ・ 重傷者数は、令和6年から増加しており、重傷者数の割合は歩行中、自転車乗車中が多い。
- ・ 市道、県道での事故が多くを占めている。社会全般に高齢化が進む中、高齢者の運転免許保有者数は増加する見込みであり、道路交通に影響を与える可能性がある。

【子どもの安全確保】

- ・ 事故件数は、令和5年から増加傾向であるが、傷者数は減少傾向である。
- ・ 計画期間中の24時間死者数はゼロ。重傷者数については年によって増減しており、重傷者数の割合は歩行中、自転車乗車中が多い。
- ・ 市道（生活道路）での事故件数が多い。

👉 **行政、学校、警察、地域が一体となった通学路安全点検、交通安全教育等による啓発活動をはじめとした取組の充実を図る。**

5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

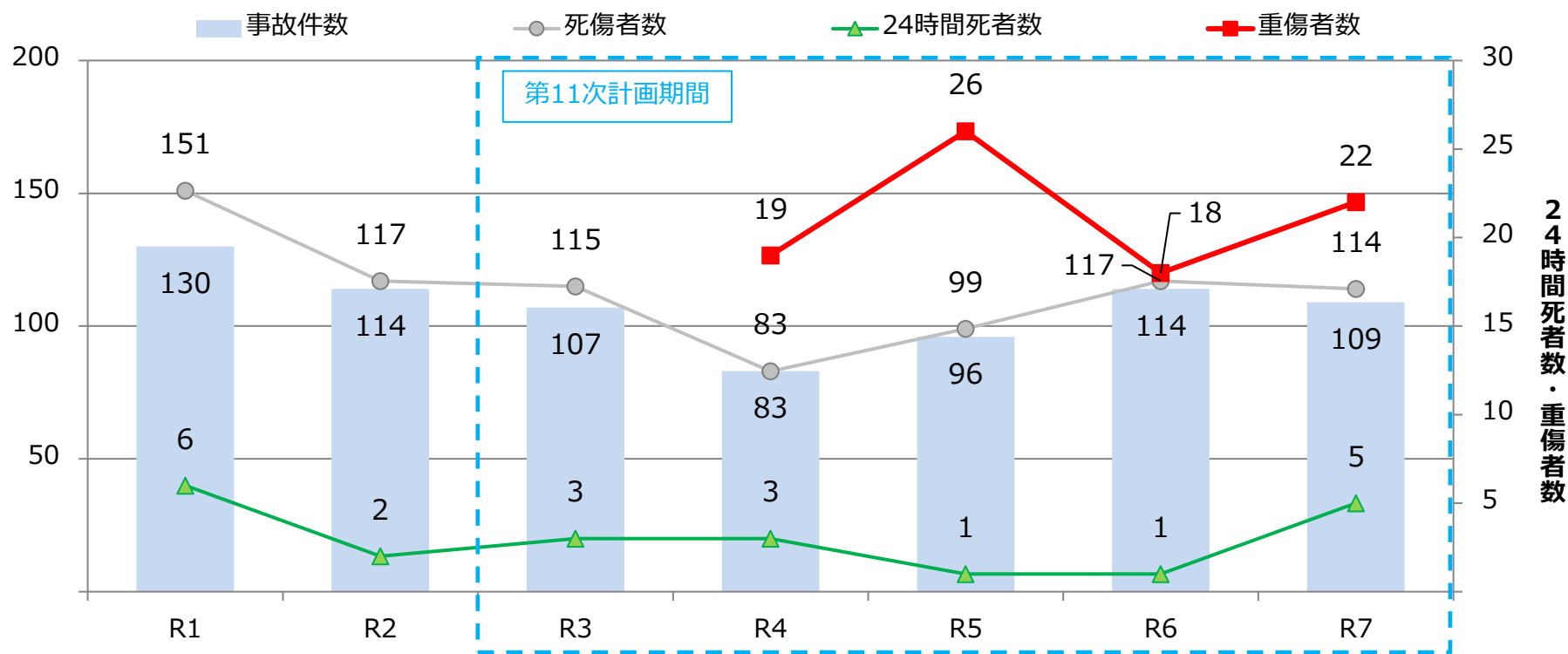
② 歩行者及び自転車の安全確保

(1) 歩行者の事故の推移

事故件数は、令和4年を底に、令和5年より増加している。

24時間死者数は、令和5～6年に減少していたが、令和7年に5人と増加した。

重傷者数は、年によって増減している。



※ 重傷者数は、令和4年以降のデータとなる。

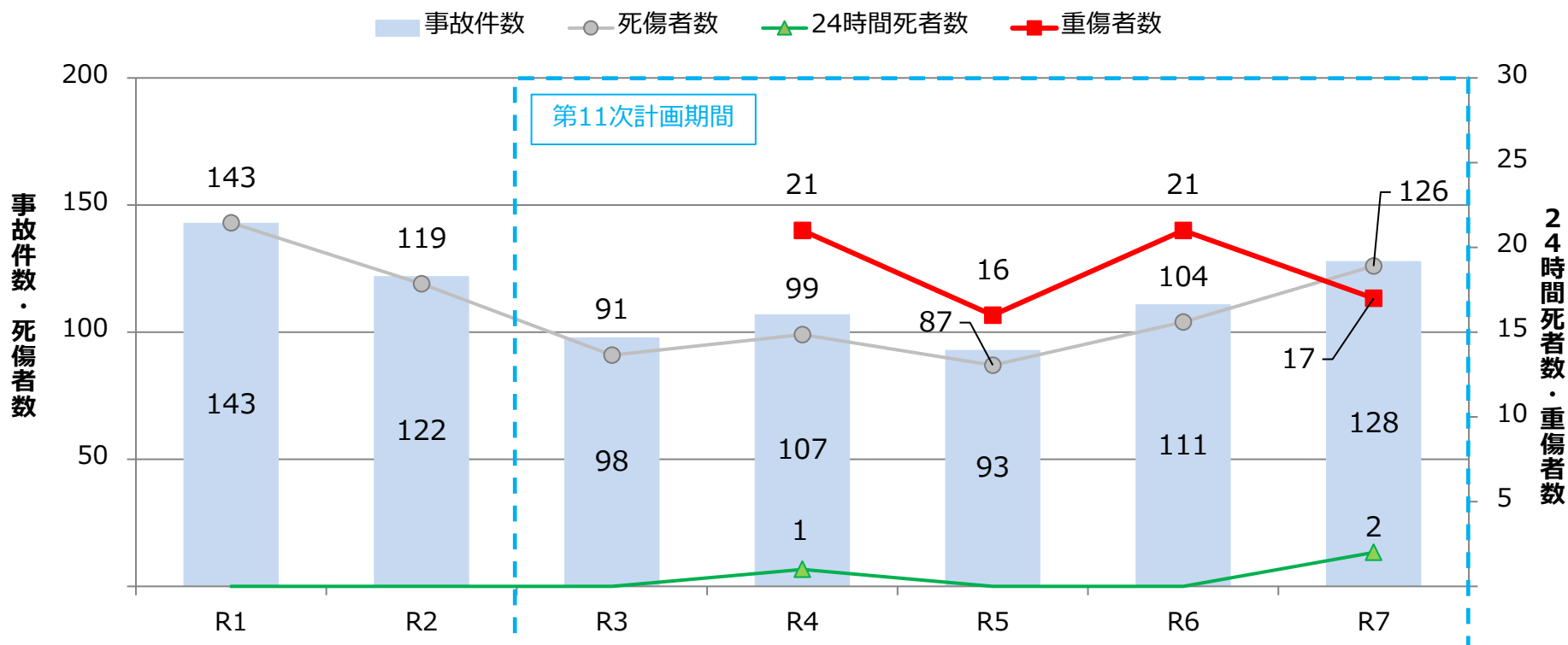
5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

② 歩行者及び自転車の安全確保

(2) 自転車の事故の推移

事故件数、死傷者数ともに令和6年から増加傾向にある。

重傷者数は、年によって増減しており、**24時間死者数**は、令和5～6年は0人であったが、令和7年は2人であった。



※ 重傷者数は、令和4年以降のデータとなる。

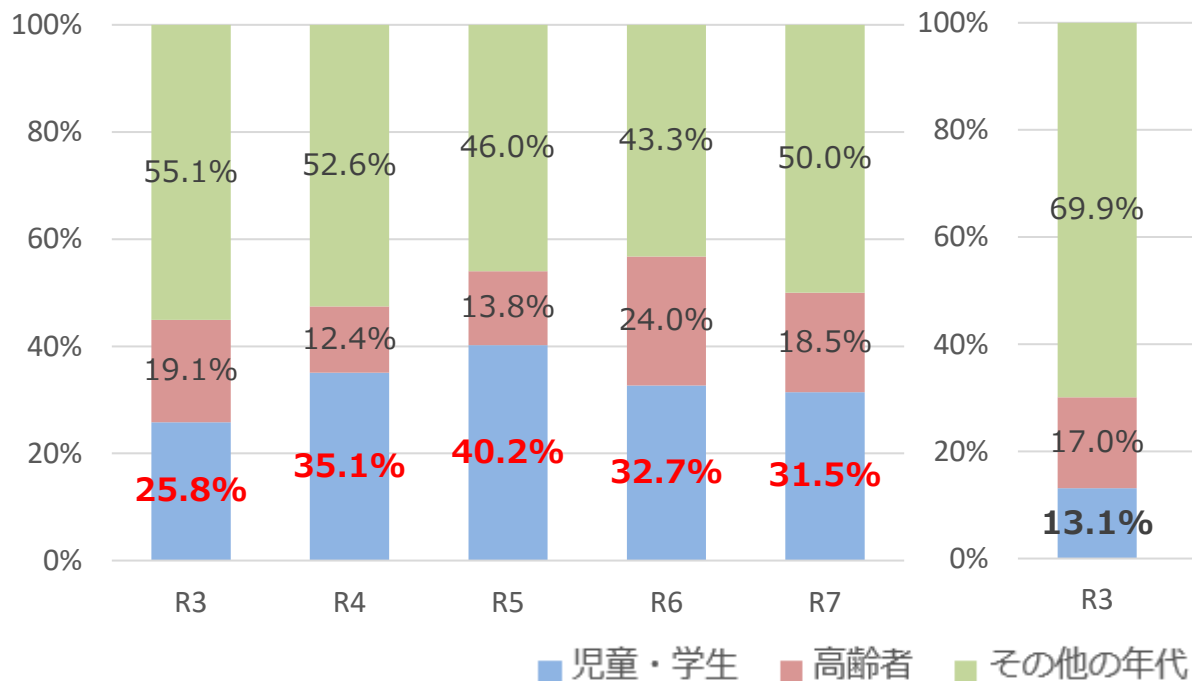
5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

② 歩行者及び自転車の安全確保

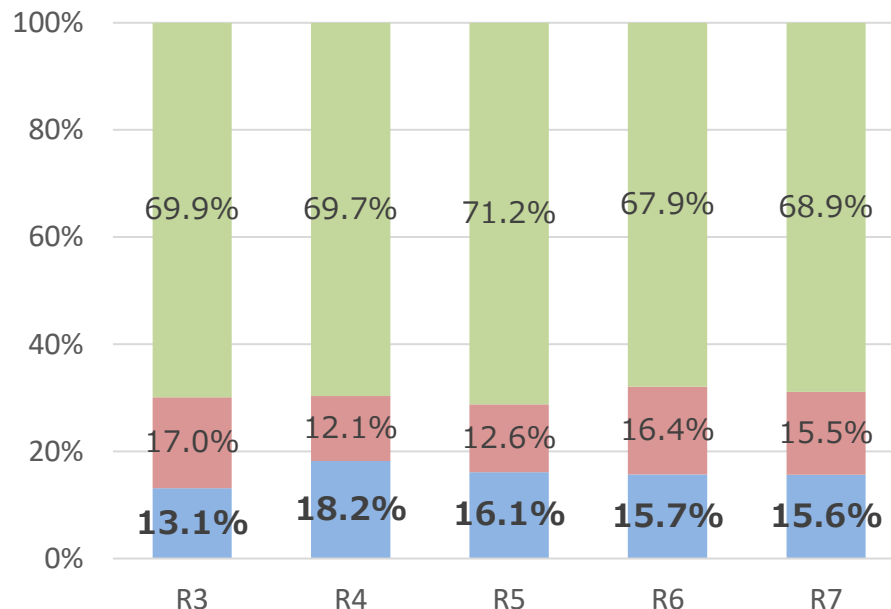
(3) 自転車[※]の傷者数の内訳（割合）

全交通事故の傷者数の割合と、自転車事故の傷者数の割合を比較すると、自転車事故の児童・学生[※]の割合が高い傾向にある。

【自転車事故の傷者数の割合】



【全交通事故の傷者数の割合】



※「児童・学生」は園児、小中学生、高校生、大学生及びその他学生をいう。

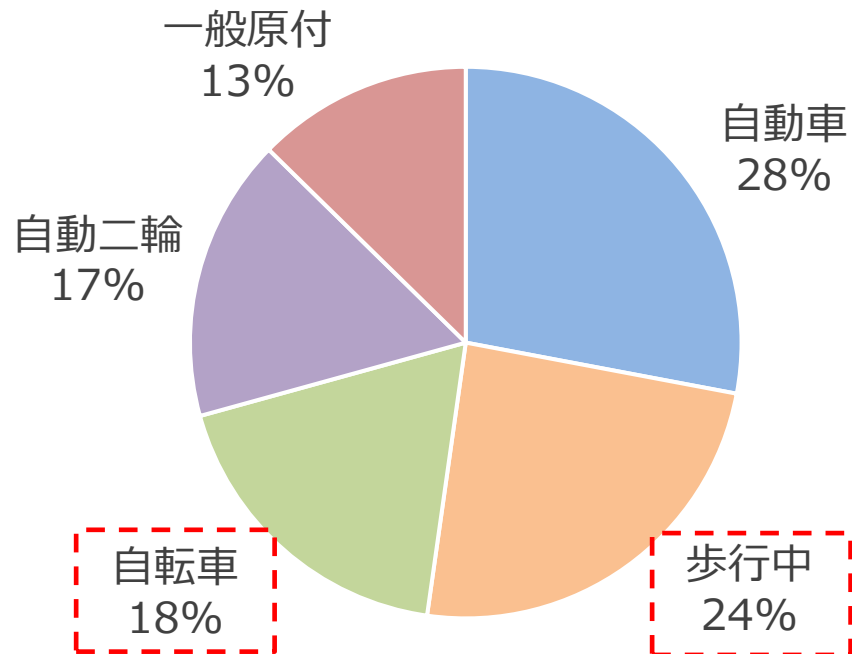
5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

② 歩行者及び自転車の安全確保

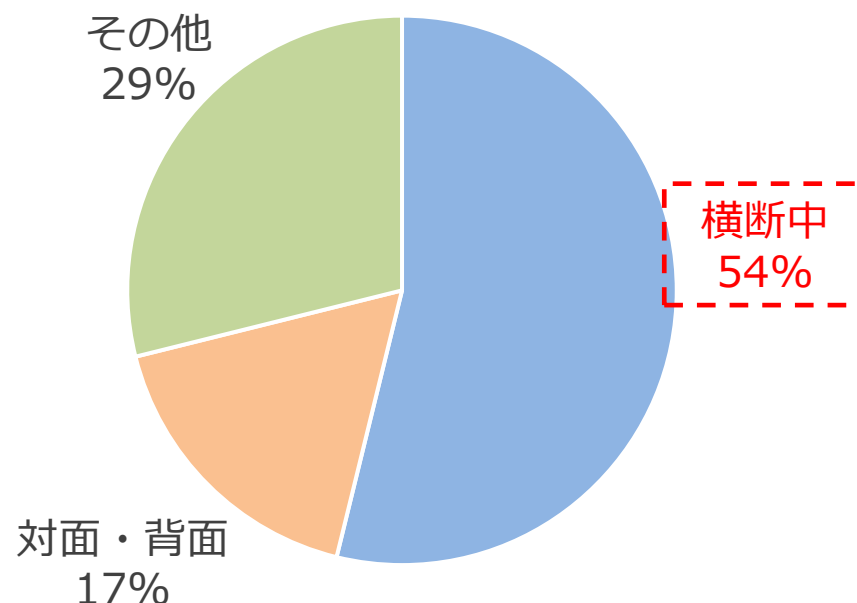
(4) 重傷者の状態別割合は、自動車に次いで、歩行中、自転車が多く占める。

(5) 歩行者事故（対車両）においては、横断中の事故が半数以上を占める。

【重傷者数の状態別割合（％）】



【歩行者事故類型別割合（対車両）（％）】



※グラフ内の数値は令和3年から令和7年までの合計件数を％で示したもの。重傷者数は、令和4年以降のデータとなる。

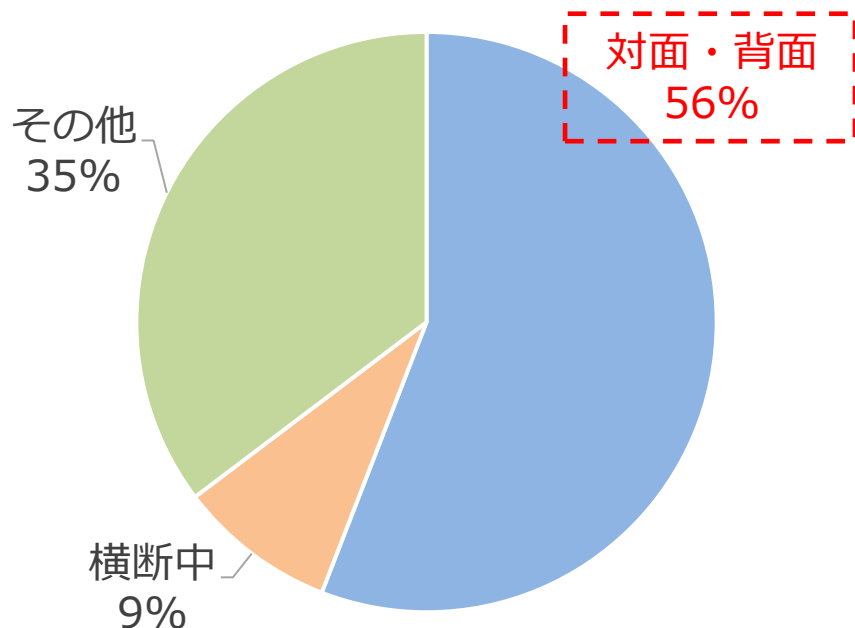
5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

② 歩行者及び自転車の安全確保

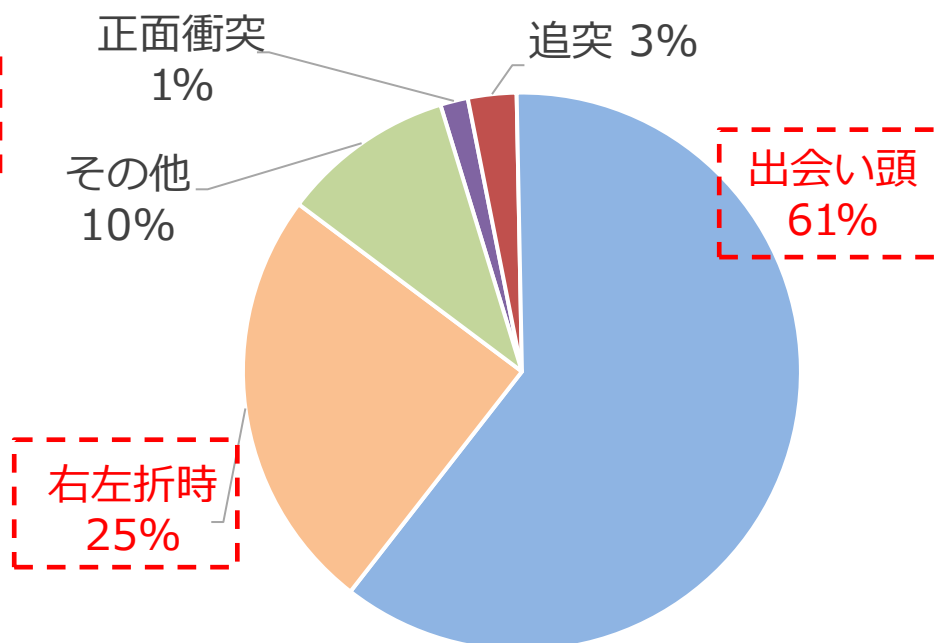
(6) 自転車事故（対人）は対面・背面事故が半数以上を占める。

(7) 自転車事故（対車両）では出会い頭と右左折時の事故が8割を超える。

【自転車事故類型別割合（対人）（%）】



【自転車事故類型別割合（対車両）（%）】



※グラフ内の数値は令和3年から令和7年までの合計件数を%で示したもの。重傷者数は、令和4年以降のデータとなる。

5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

② 歩行者及び自転車の安全確保

【歩行者の安全確保】

- ・ 事故件数は、令和4年を底に令和5年より増加。重傷者数は、年によって増減している。
- ・ 24時間死者数は、令和5～6年に減少していたが、令和7年は5人であった。
- ・ 事故類型別の割合は、横断中の事故が多い。

👉 見通しの確保の推進

👉 歩道及び横断歩道の整備

👉 横断歩道の危険性を啓発する等の交通安全教育の推進

【自転車の安全確保】

- ・ 事故件数、死傷者数は令和6年から増加傾向にあり、重傷者数は、年によって増減している。
- ・ 24時間死者数は、令和5～6年は0人であったが、令和7年は2人であった。
- ・ 自転車事故の傷者数は、児童・学生の割合が多い。
- ・ 事故類型別の割合は、対人で対面・背面事故が多く、対車両では出会い頭と右左折時の事故が多い。

👉 見通しの確保の推進

👉 交差点での注意喚起や一時停止標示の強化

👉 自転車の安全利用に関する教育及び啓発（ヘルメット着用・交通ルール遵守）

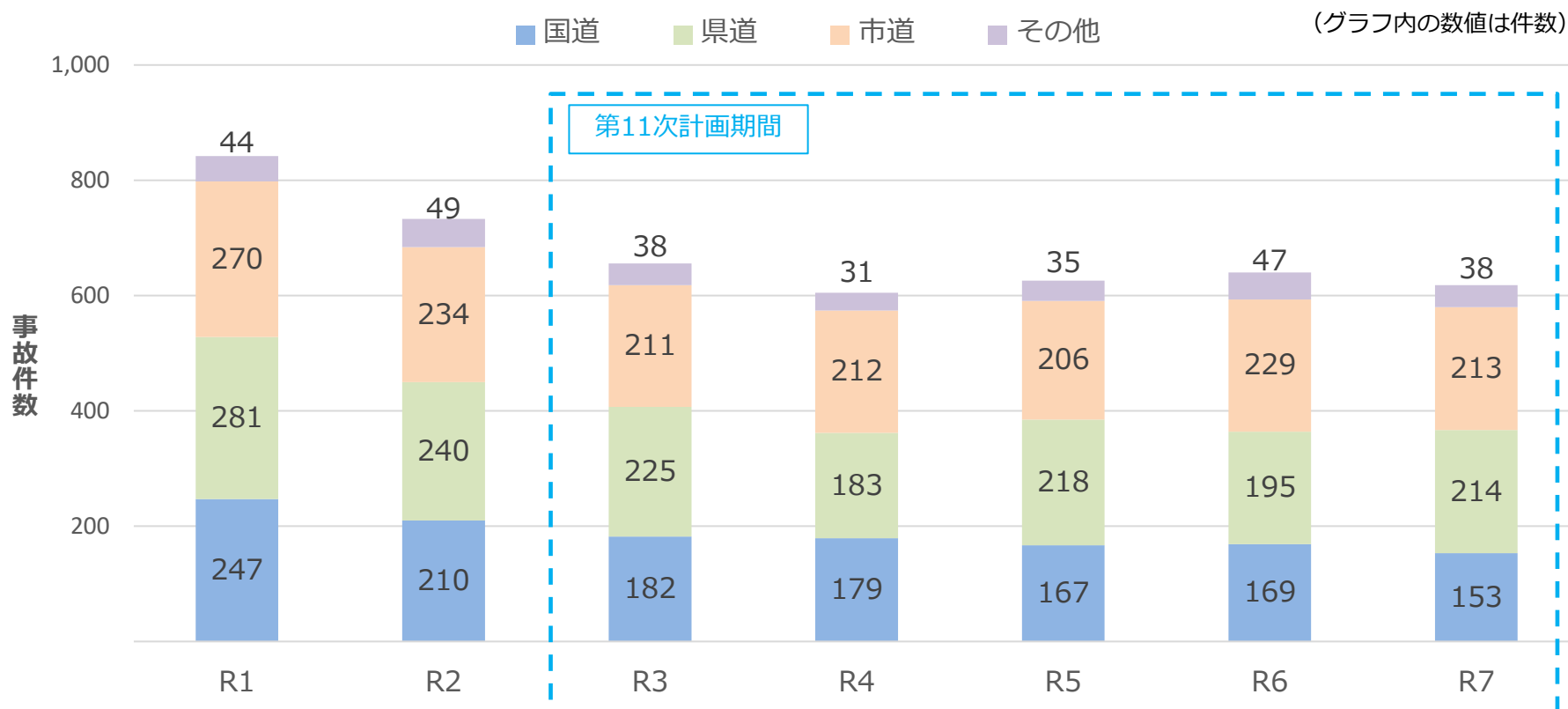
👉 通学路及び生活道路の安全点検並びに環境整備、危険箇所の確認

5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

③ 生活に密着した身近な道路及び交差点における安全確保

(1) 道路別事故件数の推移

市道における事故件数は、令和6年に増加したものの、計画期間中の件数はほぼ横ばいである。
一方、国道は減少しており、県道は年によって増減している。

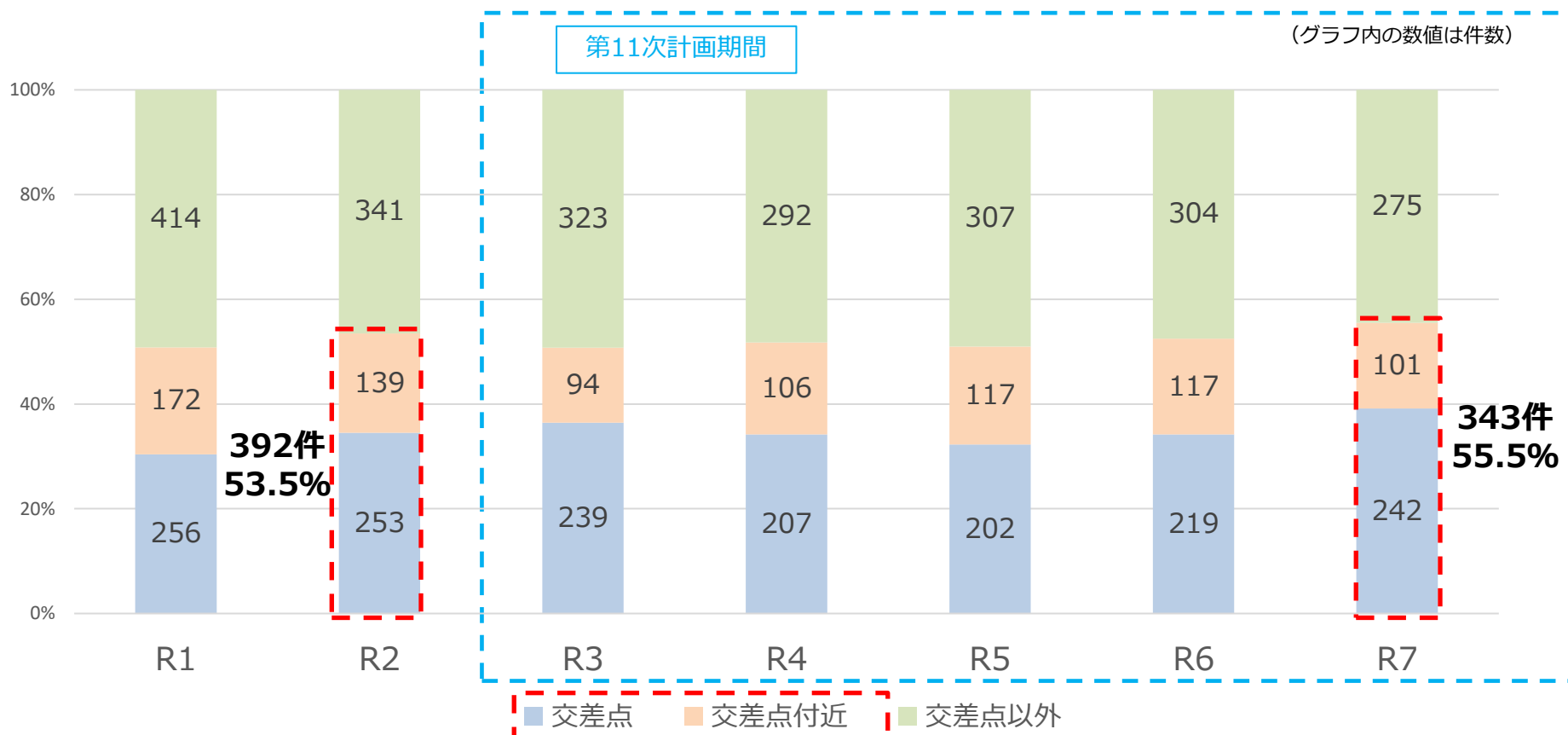


5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

③ 生活に密着した身近な道路及び交差点における安全確保

(2) 市内の道路形状別交通事故の推移

交差点及び交差点付近での事故の割合は、全体の半数以上を占めている。



5 第11次大津市交通安全計画期間データ分析

③ 生活に密着した身近な道路及び交差点における安全確保

【生活に密着した身近な道路における安全確保】

- ・生活道路が中心である市道における事故件数は、ほぼ横ばいであるが、第10次計画期間の件数に比べると減少している。

☞ **道路の安全整備（通学路安全点検、見通しの確保、交通安全施設の再点検等）及び交通安全啓発（安全運転の呼びかけ、交通ルールの周知活動等）の充実**

【交差点における安全確保】

- ・交差点及び交差点付近での事故は、全体の半数以上を占めており、事故発生リスクの高い危険箇所である。

☞ **交通事故発生箇所における重点的な道路改良（信号機・標識・舗装等）など環境整備、危険箇所の確認を引き続き実施**

5 第1次大津市交通安全計画期間データ分析

第1次計画の分析において重視すべき対象	第2次計画においても重視すべきと考える視点	施策の一例
○年代別の重点対象 ・高齢者 ・子ども	・ <u>高齢者</u>の安全確保 ・ <u>子ども</u>の安全確保 ・ <u>歩行者</u>の安全確保 ・ <u>自転車</u>の安全確保	○重点対象を組み合わせた施策 ・ 高齢者及び子ども向けの交通安全教育の実施 ・ 高齢者及び子ども向けの自転車教室の実施 ・ 重点対象に配慮した道路整備 ・ 歩行者及び自転車利用者に対する啓発
○交通手段別の重点対象 ・ 歩行者 ・ 自転車		
○道路形状別の重点対象 ・ 生活に密着した道路 ・ 交差点（市道）	・ <u>生活に密着した道路</u>における安全確保 ・ <u>交差点</u>における安全確保	・ 道路の見通しの確保 ・ 交差点改良 ・ 生活に密着した道路における取締り強化 ・ 法令遵守や交通ルールの啓発